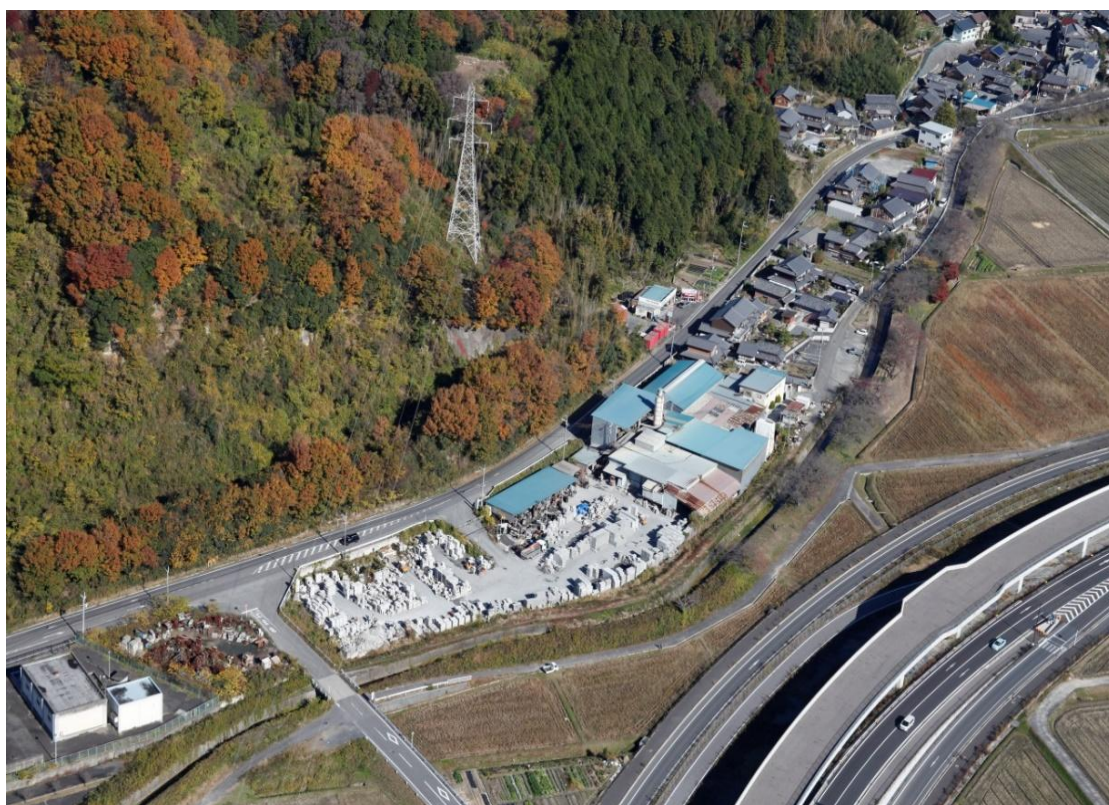


三和産業株式会社

2024年度 環境経営レポート

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日



作成日：2025年5月31日

発行責任者：栗名 純也

1 取組の対象組織・活動

① 事業者名及び代表者名

三和産業株式会社
代表取締役 栗名 宏幸

② 所在地

本社 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺 2 0 7 1 - 3

③ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 : 栗名 純也
連絡先 : TEL : 0748-74-1330 FAX : 0748-74-1691
mail : info@sanwa-shiga.co.jp

④ 事業活動の内容（認証・登録範囲）

コンクリート製品及びコンクリート 2 次製品製造業
日本産業規格表示認定工場
日本下水道協会認定工場
滋賀県リサイクル製品認定

⑤ 事業の規模

活動規模	単位	2024年
資本金	万円	2,750
売上高	万円	75,704
従業員数	名	22
事務所床面積	m ²	1,260
工場面積	m ²	5,572
駐車場面積	m ²	285
認証・登録	○	

* 従業員数は2023年4月1日現在数です
* 当社の事業年度は7月21日から翌年7月20日です。

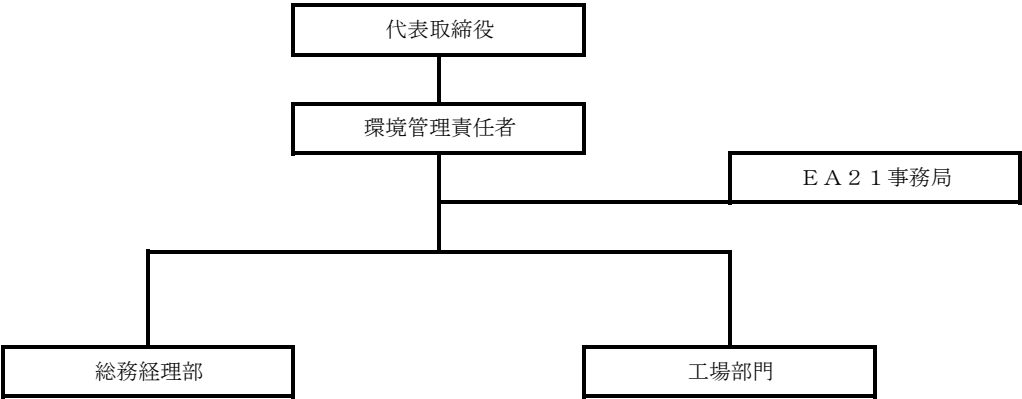
⑥ 過去3年間の環境負荷の実績

項目 \ 年度	.	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	533,521	550,134	605,888
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	902.7	866.4	800
廃棄物の排出量	t	263.4	593.0	125.2
化学物質使用量	k g	960	936	744
水の使用量、排水量	m ³	739	698	681

* 環境取組対象期間は毎年4月1日から翌年3月31日です。
* 購入電力の排出係数は、関西電力2021年度調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3ヶ年間固定します。

⑦ EA2 1 実施体制組織図

2024年4月1日



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況进行评估する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの运营管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートの作成
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主性・積極的に環境活動へ参加

三和産業株式会社

環境経営方針

環境理念

私たちは、環境を配慮した持続可能な『ものづくり』を実現するために、お客様を第一に、社会に必要な製品を提供するとともに『琵琶湖』の豊かで美しい自然環境との共存も最重要課題と認識し、自然環境・生物多様性の保存といった様々な共有財産を、製品を通じて社会に貢献致します。

行動指針

当社は、コンクリート製品の製造会社であり、事業活動において環境への影響を理解し、環境経営を最優先課題と位置づけ、全社で、エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。

① 二酸化炭素排出量削減の推進

事業所での電気使用量や車両及び燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

② 廃棄物排出量削減の推進

事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、削減に努めます。

③ 総排水量削減の推進

事業所から排出する水の汚染、汚濁を防止するとともに、節水に努め、水の使用量を削減します。

④ 化学物質の適正管理に努めます。

⑤ 環境に配慮した製品を顧客に積極的に提案・拡販に努めます。

⑥ 地域の環境活動等の社会貢献を推進します。

3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2015/12/1

改訂日：2018/4/1

代表取締役 栗名宏幸

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21には2015年から取組みしています。2022年度の実績を基準値として、2023年から2025年までの環境経営目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2024年4月1日から2025年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	2022年度(基準年)		2024年(取組年)		次年度	中長期
		単位	(実績)	(目標)	(実績)	2025年	2026年
				削減率是对基準 年比	削減率是对基準 年比		
事業所での電気使用量や車両及び燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。	電力使用量の削減 (kWh)	%	100%	98%	91.7%	97%	97%
		使用量	311,067	304,846	285,283	301,735	301,735
		(kg-CO ₂)	96,742	94,807	88,723	95,803	95,803
		(kwh/百万円)	526.3	-	376.8	-	-
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	%	100%	98%	79.6%	97%	97%
		使用量	7,451	7,302	5,934	7,227	7,227
		(kg-CO ₂)	17,285	16,940	13,767	16,767	16,767
		(ℓ/百万円)	12.6	-	7.8	-	-
	軽油使用量の削減 (単位:L)	%	100%	98%	93.4%	97%	97%
		使用量	8,511	8,427	7,951	8,428	8,428
		(kg-CO ₂)	21,957	21,518	20,513	21,299	21,299
		(ℓ/百万円)	14.4	-	10.5	-	-
	灯油使用量の削減 (単位:L)	%	100%	98%	105.8%	97%	97%
		使用量	945	936	1,000	917	917
		(kg-CO ₂)	2,353	2,306	2,490	2,282	2,282
		(ℓ/百万円)	1.6	-	1.3	-	-
	重油使用量の削減 (単位:L)	%	100%	98%	91.7%	97%	97%
		使用量	80,000	78,400	62,000	77,600	77,600
		(kg-CO ₂)	216,800	212,464	168,020	210,296	210,296
		(ℓ/百万円)	135	-	81.9	-	-
	LPG使用量の削減 (単位:k g)	%	100%	98%	175.1%	97%	97%
		使用量	59,461	58,272	104,125	57,677	57,677
		(kg-CO ₂)	178,383	174,815	312,375	173,032	173,032
		(ℓ/百万円)	101	-	138	-	-
	二酸化炭素排出量の削減	%	100%	97%	113.6%	96%	96%
		(kg-CO ₂)	533,521	522,850	605,888	346,447	346,447
	二酸化炭素排出量/百万円	%	100%	97%	88.7%	97%	97%
		(kg-CO ₂ /百万円)	902.7	875.7	800.3	875.7	875.7
事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、削減に努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	%	-	-	99.8%	-	-
		(%/年)	100%	95%	105.1%	95%	95%
事業所から排出する水の汚染、汚濁を防止するとともに、節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の削減 (単位:m ³)	%	100%	98%	83.5%	97%	97%
		(m ³ /年)	815	799.2	681.0	791.0	791.0
		(m ³ /百万円)	1.38	-	0.90	1.34	1.34
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	%	-	-	100%	-	-
事業所で使用する化学物質の適正管理を行います。	化学物質の適正管理 (回/年)	%	-	-	100%	-	-
		回/年	12回	12回	12	12回	12回
環境に配慮した製品を顧客に積極的に提案・拡販に努めます。	環境配慮製品の提案・拡販の100%実施 (単位:%)	%	-	-	100%	-	-
		(%/年)	100%	100%	100	100%	100%
地域の環境活動等の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位:回)	%	-	-	100%	-	-
		(回以上/年)	-	12	12	12	12
-	売上高	百万円	591	-	757	-	-

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は、関西電力2021年度調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3ヶ年間固定します。
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対しての総排出量を把握し、リサイクル率で取組します。
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について取組すると共に濁水監視します。
- 環境配慮商品の提案・拡販に努めるについては、コンクリート2次製品の提案・拡販を100%実施します。
- 地域の環境美化活動を通じて、社会貢献を推進します。
- 化学物質は、A重油に含有されており、個別に管理できないため、管理台帳で適正管理に努めます。
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。
- 2026年の目標は、仮目標です。
- 表中の売上高原単位は各年度の売上高百万円当たりの使用量、発生量です。

4 環境経営活動計画

環境経営方針	取組項目	環境経営活動計画の内容	責任部門・担当者
事業所での電気使用量や車両及び燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃) ④ エアコンの時間限定使用	工場部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働 ④ 環境に配慮した整備	工場部
	軽油使用量の削減 (単位：L)		
	灯油使用量の削減 (単位：L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃) ② 時間限定使用	
	重油使用量の削減 (単位：L)	① 負荷に応じたボイラーの効率的な稼働 ② ボイラー温度管理	
	LPG使用量の削減 (単位：kg)	① 負荷に応じたボイラー温度管理	
事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、削減に努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%)	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する ② 無駄な資機材を購入しない ③ 使用済みコピー用紙を再利用する	環境管理部
事業所から排出する水の汚染、汚濁を防止するとともに、節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の削減 (単位：m ³)	① 循環使用の徹底 ② 水を流しながらの洗い物はしない ③ ホース先にストッパーを付ける	総務経理部
	濁水防止の100%適正監視 (単位：%)	① 濁水防止の適正監視する	環境管理部
事業所で使用する化学物質の適正管理を行います。	化学物質の適正管理 (回/年)	① A重油(メチルナフタレン含有)の漏洩防止 ② 月1回台帳を確認する	環境管理部
環境に配慮した製品を顧客に積極的に提案・拡販に努めます。	環境配慮製品の提案・拡販の100%実施 (単位：%)	① 環境配慮商品の提案・拡販は、生産過程で下水汚泥焼却灰の使用、事務所LED化、工場の電動リフトの使用、営業車やトラックのHV車や低燃費車の使用により、提案・拡販を100%実施する	営業部
地域の環境活動等の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位：回)	① 地域の清掃活動に参加する。草刈り等	環境管理部

取組の紹介

1. エコアクション21に取組を始めて8年目を迎え、各取組項目について全社を挙げて取組みます。
2. 社内の実施体制が確立しているので、各人の役割・責任・権限を全うして活動に取組みます。
3. 各目標達成手段を実践して、二酸化炭素の排出の削減に取組みます。
4. 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物の分別で総排出量を把握し、再資源化に取組みます。
5. 節水に取り組み使用量の削減に取組む。また毎日の濁水監視の徹底に取組みます。
6. 化学物質の適正管理に取組みます。
7. 環境配慮商品の提案・拡販に努めるについては、コンクリート2次製品の提案・拡販を100%実施します。

5 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価 ○・・目標達成 △・・目標を110%以内達成 ×・・目標未達成

環境経営方針	取組項目	単位	2024年（取組年）		評価	取組の評価	担当責任者
			（目標） 削減率は対基準年比	（実績） 削減率は対基準年比			
事業所での電気使用量や車両及び燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。	電力使用量の削減 （kWh）	%	98%	91.7%	○	工場電力の立ち上がりをずらしミキサー、ボイラーの電源管理、タイマー管理を行い目標を達成した。	工場部
		使用量	304,846	285,283			
		（kg-CO ₂ ）	94,807	88,723			
		（kwh/百万円）	-	377			
	ガソリン使用量の削減 （単位：L）	%	98%	79.6%	○	ガソリンは、アイドリングストップで削減、軽油は、環境に配慮した稼働、重油は、ボイラー温度管理で目標を達成した。灯油は使用頻度が増え、LPGガスボイラーを主に稼働し使用頻度を増やした為、未達となった。	工場部
		使用量	7,302	5,934			
		（kg-CO ₂ ）	16,940	13,767			
		（ℓ/百万円）	-	7.8			
	軽油使用量の削減 （単位：L）	%	98%	93.4%	○		
		使用量	8,427	7,951			
		（kg-CO ₂ ）	21,518	20,513			
		（ℓ/百万円）	-	10.5			
	灯油使用量の削減 （単位：L）	%	98%	105.8%	△		
		使用量	936	1,000			
		（kg-CO ₂ ）	2,306	2,490			
		（ℓ/百万円）	-	1.3			
	重油使用量の削減 （単位：L）	%	98%	91.7%	○		
		使用量	78,400	62,000			
		（kg-CO ₂ ）	212,464	168,020			
		（ℓ/百万円）	-	82			
LPG使用量の削減 （単位：k g）	%	98%	175.1%	×			
	使用量	58,272	104,125				
	（kg-CO ₂ ）	174,815	312,375				
	（ℓ/百万円）	-	138				
二酸化炭素排出量の削減	%	97%	113.6%	×			
	（kg-CO ₂ ）	522,850	605,888				
二酸化炭素排出量/百万円	%	97%	88.7%	○			
	（kg-CO ₂ /百万円）	875.7	800.3				
事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、削減に努めます。	分別及びリサイクルの推進（単位：％）	%		100%	○	製造工程の見直しを行い不良品削減を徹底し、分別も徹底した。	環境管理部
		(%/年)	95%	105%			
事業所から排出する水の汚染、汚濁を防止するとともに、節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の削減 （単位：㎡）	%	98%	83.5%	○	短時間でも止水を徹底し、計画を達成した。	総務経理部
		（㎡/年）	799	681			
		（㎡/百万円）	-	0.9			
事業所で使用する化学物質の適正管理を行います。	濁水防止の100%適正監視 （単位：％）	%	-	100%	○	濁水監視の実施、清掃、予防整備を行った。	環境管理部
		(%/年)	100%	100			
		化学物質の適正管理 （回/年）	%	-			
	回/年	12回	12				
環境に配慮した製品を顧客に積極的に提案・拡販に努めます。	環境配慮製品の提案・拡販の100%実施 （単位：％）	%	-	100%	○	下水汚泥焼却灰利用し環境配慮製品製造販売を行い、工場の電動リフト使用促進を100%実施した	営業部
		(%/年)	100%	100			
地域の環境活動等の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。（単位：回）	%	-	100%	○	地域の清掃活動を定期的に行い、社会貢献に努めた	環境管理部
		（回以上/年）	12	12			

次年度の取組内容

- 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、設備機器の効率的な稼働、車輛のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施します。
- 廃棄物は分別を実施してリサイクル・削減に努めます。
- 水使用量の削減では、工場の使用量削減に努めると共に、漏水監視を実施します。
- 環境配慮商品の提案・拡販に努めるについては、コンクリート2次製品の提案・拡販を100%実施します。
- 環境美化活動は計画通り実施します。
- 環境経営目標の達成取組と共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組み、意識を持って全員で実践します。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去３年間に関係当局からの

違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
水質汚濁防止法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
大気汚染防止法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
資源有効利用促進法	資源の有効利用	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄時の適正な処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な処理	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検の実施と記録の保存、廃棄時の適正な処理	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
化学物質管理法	第1種、第2種指定化学物質の把握及び届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度は、生産量で20,655t/年と、昨年度より1,515t生産量で減少していたが、残念ながらCO²排出量は増となった。電力量では、本年実績91.7%となり、工場内のリフトの電動化を進めるとともに、蒸気ボイラーの使用時間が多かった割には電力量減となった。太陽光パネルの設置効果が寄与した結果である。LPG使用量が増となったが、大型商品の製造が増えるとともにボイラーの利用時間が長くなったのが要因である事と、重油ボイラーの利用を控え結果として重油利用量は減少している。世界的に環境負荷への低減が叫ばれ、当社でもCO₂削減へ努力致しているところである。昨年度、建屋屋根に太陽光パネルを設置し、ようやく結果が電力量減に見える形で寄与したが、今後は雑巾を絞るような削減努力が期待される。そして本年度も、より一層の社会貢献のためCO₂吸収型コンクリート製品の技術を磨くとともに生物多様性にも配慮した環境経営に取り組んでまいります。小さい会社ながら持続可能な社会に向け全社一丸となり取り組んでいきたい。環境経営方針、実施体制の変更はないが、環境経営目標・計画は新たに目標を変更して取組む。

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり
環境経営目標・計画	☐	変更なし	☒	変更あり
実施体制他	☒	変更なし	☐	変更あり